

Preface 010-1

情報モラル教育 ①

ねらい：情報社会で、適正で安全な活動を行うための基になる考え方と態度

情報モラル教育の内容

背景

☆インターネット上の誹謗中傷やいじめ、犯罪や違法・有害情報などの問題が発生している現状。
☆情報社会に積極的に参画する態度を育てるることは今後ますます重要。

目標

☆情報手段をいかに上手に賢く使っていくか、そのための判断力や心構えを身に付ける。
☆情報社会の特性の一側面である影の部分を理解。

モラル教育実践ガイドライン

情報モラル教育の充実



すべての児童生徒に
情報モラルを身に付ける
指導が必要。

情報モラル：情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度。

内容及び指導上の留意点

☆具体的には下図にある2領域5分野の内容をもれなく扱う。
☆各教科等の目標と情報モラル教育の目標との関係を明確にする。
☆学校の教育活動全体を通して適切に情報モラルを身に付けるための学習活動を位置付ける。

情報モラルの指導は
すべての教員が行う。

情報社会の倫理

★情報に関する自他の権利を尊重して責任ある行動を取る態度。

小学校：人の作ったものを大切にし、他人や社会への影響を考えて行動することの大切さを学ぶ。

中学・高等学校：他者の権利や知的財産権を尊重し、情報社会への参画において責任ある態度で臨み義務を果たさなければならないことを学ぶ。

法の理解と遵守

★情報社会におけるルールやマナー、法律があることを理解し、それらを守ろうとする態度。

小学校：情報をやりとりする際のルールやマナーを理解し、それらを守る態度を学ぶ。

中学・高等学校：情報に関する法律や契約について理解し適切に行動する態度を学ぶ。



心を磨く領域

公共的なネットワーク社会の構築



★情報社会の一員として公共的な意識をもち、適切な判断や行動を取る態度。

小学校：協力してネットワークを使い、データやリソースを共有することの大切さを学ぶ。

中学・高等学校：ネットワークの公共性を意識し、ネットワークをよりよいものにするために主体的に行動する態度を学ぶ。

知恵を磨く領域

★情報社会の危険から身を守り、危険を予測し、被害を予防する知識や態度。

小学校：危険なものには近づかない、もし不適切な情報に出会ったら大人に相談するなど適切に対応できる態度を学ぶ。

中学・高等学校：情報社会の特質を意識しながら安全に行動する態度や、自他の安全や健康に配慮した情報メディアとのかかわり方を学ぶ。

★生活の中で必要となる情報セキュリティの基本的な考え方、情報セキュリティを確保するための対策・対応についての知識。

小学校：IDやパスワードの保護や不正使用・不正アクセスの防止などを学ぶ。

中学・高等学校：情報セキュリティの基本的な知識を身につけ、セキュリティ対策の立て方を学ぶ。

安全への知恵

情報セキュリティ

Preface 010-z

情報モラル教育 ②

ネット社会の歩き方



ねらい：情報社会で適正で安全な活動を行うための基になる考え方と態度

いつ、どこで、どのように 6年間で着実に

分類	L1：小学校1～2年	L2：小学校3～4年	L3：小学校5～6年
1. 情報社会の倫理	a1～3：発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ		
	a a1-1：約束や決まりを守る	a2-1：相手への影響を考えて行動する	a3-1：他人や社会への影響を考えて行動する
2. 法の理解と遵守	b1～3：情報に関する自分や他者の権利を尊重する		
	b b1-1：人の作ったものを大切にする心をもつ	b2-1：自分の情報や他人の情報を大切にする	b3-1：情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する
c2～3：情報社会でのルール・マナーを遵守できる			
3. 安全への知恵	d1～3：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる		
	d d1-1：大人と一緒に使い、危険に近づかない	d2-1：危険に出会ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する	d3-1：予測される危険の内容がわかり、避ける
e	d1-2：不適切な情報に出会わない環境で利用する	d2-2：不適切な情報に出会ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する	d3-2：不適切な情報であるものを認識し、対応できる
	e1～3：情報を正しく安全に利用することに努める	e2-1：情報には誤ったものもあることに気づく	e3-1：情報の正確さを判断する方法を知る
f	e1-2：知らない人に、連絡先を教えない	e2-2：個人の情報は、他人にも漏らさない	e3-2：自他の個人情報を、第三者にもらさない
	f1～3：安全や健康を害するような行動を抑制できる	f2-1：健康のために利用時間を決め守る	f3-1：健康を害するような行動を自制する
g	f1-1：決められた利用の時間や約束を守る	f2-2：	f3-2：人の安全を脅かす行為を行わない
g2～3：生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る			
h	g2-1：認証の重要性を理解し、正しく利用できる		
	h3：情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる		
i2～3：情報社会の一員として、公共的な意識を持つ			
i	i2-1：協力し合ってネットワークを使う		
		i3-1：ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う	
j2～3：情報社会で問題となる問題を理解する			
j	j2-1：情報社会で問題となる問題を理解する		
		j3-1：情報社会で問題となる問題を理解する	

ふじみ「情報モラル」6年間の指導計画 年3回(最低)×6年間

分類	目標	学習内容	低学年	中学年	高学年
心を磨く領域	1 情報社会の倫理	a 発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ	約束や決まりを守る S「タブレット・パソコンを上手に活用しよう」2 S「生活を見直そう」1	S「タブレット・パソコンを上手に活用しよう」3	S「タブレット・パソコンを上手に活用しよう」5
			相手への影響を考えて行動する S「自分とあいてとのちがい」1 道「いたずらがき」1 道「たんじょう日カード」2	S「自分と相手とのちがい」3 S「これって悪口」3 S「悪口を書かれたら」4 S「ゲームソフトのかしかり」4 道「ひみつの手紙」3	
			他人や社会への影響を考えて行動する		S「自分と相手とのちがい」6 S「写真を公開する前に」6
	b 情報に関する自分や他の権利を尊重する	人の作ったものを大切にする心を持つ 自分の情報や他人の情報を大切にする（人格権、肖像権） 情報にも自他の権利があることを知り尊重する（著作権）	人の作ったものを大切にする心を持つ S「友だちのまね」2		
				学「作品を作る（著作物を上手に扱う）」 不「肖像権に気をつけて」	
					S「マンガをSNSにアップすると」5
	2 法の理解と遵守	c 情報社会でのルール・マナーを遵守できる	生活の中でのルールやマナーを知る S「マナーを守って使う（利用マナーについて考える）」1		
			情報発信ややり取りする場合のルールやマナーを知り守る	学「情報を発信する（SNSを上手に使う）」3	
			何がルールやマナーに反する行為か知り、絶対に行わない	学「情報を発信する（SNSでどう伝えるか考える）」4	
			ルールや決まりを守ることの社会的意義を知り、尊重する		S「匿名でつぶやいたら」5 ネ「ネットで悪口が罪になる」 ネ「ネットで悪口は要注意」 ネ「軽い気持ちでマナー違反」6
			契約の基本的な考え方を知り、それに伴う責任を理解する		ネ「契約は慎重に」 ネ「ネットショッピングの活用」
知恵を磨く領域	d 情報社会の危険から身を守ることで、不適切な情報に対応できる	大人と一緒に使い、危険に近づかない 不適切な情報に出合わない環境で利用する 不適切な情報に出会った時は大人に意見を求める対応する 予測される危険の内容がわかり、避ける 不適切な情報であるものを認識し、対応できる 安全性の面から、情報社会の特性を理解する	教「教材19 学習用タブレットの上手な使い方」		
			ネ「GIGA端末持ち帰り時の約束は？」 ネ「ペアレンタルコントロール」		
				S「写真を送ってと言われたら」4 学「インターネットを活用する（ネット交流について考える）」	
				学「インターネットを活用する（ネット詐欺について考える）」	
					ネ「スパムメールは無視」 ネ「エーンメールはカット」 ネ「フィッシングサイトにつられるな」 ネ「ステマってなに？」
					学「オンラインで交流する（SNSで知り合った人とやりとりする）」6
	e 情報を正しく安全に利用することに努める	知らない人に、連絡先を教えてない 情報には誤ったものもあることに気付く 個人の情報は、他人にもらさない 情報の正確さを判断する方法を知り、信頼性を吟味できる 自他の情報の安全に関して正しい知識を持つて行動できる	S「るすばんしていたときのできごと」2 S「ゲームの中の友だち」2		
				S「情報を上手に検索しよう」	
				学「インターネットを活用する（個人情報について考える）」	S「SNSから分かることは」 道「その遊びが、だいじょうぶ？」5
					S「メディアの特性をを考えよう」5 S「情報を上手に整理しよう」6 ネ「こんなWebサイトには気をつけて」
					ネ「セキュリティーのコツ」 ネ「Webサイトの情報を活用しよう」
	f 安全や健康を害するような行動を抑制できる	決められた利用の時間や約束を守る 健康のために利用時間を決め、守る 健康に害するような行動を自制する 自他の安全に配慮したメディアとの関わり意識して行動する	S「つかいすぎていないかな①・②」1 S「おうちの人とのやくそく」2		
				S「使いすぎていないかな」3 S「ゲームって楽しいけれど」4 道「やめられない？とまらない？」	
					S「使いすぎていないかな」5
					道「あなたはどう考える？」6
	g セキ4 ユリ情報テイ	生活の中で必要な情報セキュリティの基本を知る	認証の重要性を理解し、正しく利用できる	S「タブレット・パソコンを上手に活用しよう」	
			不正使用や不正アクセスされないように利用できる 学「タブレットを初めて使う（パスワードを管理する）」1		
	h	情報セキュリティ確保対策対応がされる	情報の破壊や流出を守る方法など、情報セキュリティの基礎的な知識を身に付ける 学「タブレットを初めて使う（大切な情報を守る）」1		ネ「コンピューターウィルスに注意」
5 公共的なネットワーク社会の構築	i	情報社会の一員として公共的意識を持つ	協力し合ってネットワークを使う ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う	教「教材20 思ったままSNSに送信しただけなのに」	
					ネ「友達とのファイル共有は便利でも注意して！」

上記の各学年欄は、指導学年と東京都教育委員会「SNS東京ノート」「新しい道徳」(東京書籍)の項目を示す。また、内容項目の末尾の数字は、指導学年を示す。その他、文科省「情報モラル学習サイト」「情報モラルの新たな問題を考えるための教材(動画)」「ネット社会の歩き方(動画教材)」等を組み合わせて指導する。